

平成27年度 講座案内 年間計画

講座名		イキイキ人間学 (人権教育連続講座)	
<p>人権が尊重され、明るく住みよいまち倉敷をつくるためには、一人ひとりが生きがいを持ち、地域に住む人々の幸せを願い、人々が力をあわせ、理解と協力の輪を広げていくことが大切です。そこで、今年度も人権意識の高揚をめざして、イキイキ人間学講座を次のとおり計画いたしました。市民の皆様、人権学習推進委員会の推進委員、事務局員等ふるってご参加ください。</p>			
時刻・会場		14:00～16:00 ライフパーク倉敷 中ホール	
(1) 7月31日(金) (中ホール)	NPO法人抱樸 理事長 奥田 知志 先生	<p>「『助けて』と言える社会を目指して ～生活困窮者支援の現場から～」</p> <p>「いい人ほど勝手な人間になれないから、つらくて苦しいのや。人間が動物と違うところは、他人の痛みを自分の痛みのように感じてしまうところなんや。」(灰谷健次郎「太陽の子」より) 出会いは責任を伴う、そのままの自分ではいけない、だからつらい。弱さが人を人とならしめる。生活困窮者支援を通して、誰もが人間として生きるために、助けてと言える社会を目指す。</p>	
(2) 8月11日(火) (中ホール)	岡山大学教育学部 非常勤講師 花田 文甫 先生	<p>「あなたが幸せならば 私も幸せ」 ～人権問題の解決を自らの課題として取り組もう～</p> <p>現代の世の中には同和問題をはじめ、様々な人権問題が存在している。人権問題を解決するためには、私たちが日々の暮らしの中で人権尊重の精神をいかに尊び、水平な人間関係づくりを進めていくことができるかが問われている。今なお潜在する同和問題を学ぶことにより、様々な不合理をこの世から少しでも取り除いていくための学習を生涯学習の観点に立って学んでみませんか。</p>	
(3) 9月15日(火) (中ホール)	公益社団法人認知症 のひとと家族の会 岡山県支部代表 妻井 令三 先生	<p>「認知症にどう向き合う」～超高齢者社会と人権課題～</p> <p>平均寿命は1世紀で倍。100歳以上の高齢者は半世紀で350倍を越す人類史上の新しいライフステージ。その裏で、根治的療法に未到達の認知症問題が顕在化し、徘徊・特殊詐欺被害・虐待・孤立死など認知症受難時代の様相である。認知症を知り、それに向き合う課題は国民的課題になってきている。</p>	
(4) 10月23日(金) (中ホール)	倉敷芸術科学大学 芸術学部教授 柳田 宏治 先生	<p>「ユニバーサルデザインと人権」</p> <p>ユニバーサルデザインは、製品、建物、サービスなどを年齢、性別、障がいの有無、国籍など個人の能力や特徴に関わらず、幅広い人々に利用しやすいようにデザインすることです。誰もが排除されず、公平に満足を得られることであり、今では日常生活の様々な場面で私たちを支えています。人権問題との深い結びつきを、成り立ちや考え方、事例を紹介しながら解説します。</p>	
(5) 11月19日(木) (中ホール)	おかやま児童虐待事例 研究会代表 松尾 冀 先生	<p>「助けを求める子どもたち」</p> <p>児童相談の窓口から見た子どもの悲惨な実態を、事例を紹介しながら考えてゆきたい。虐待者に実母が多い現実をどう理解したらいいのか。虐待は悪い親とかわいそうな子という単純な構図ではない。虐待通告相談の大部分は育児の未熟なもので、親自身も援助を求めている。</p>	
<p>☆ 対 象 ・市民 ・人権学習推進委員 ・事務局員 等 約60名</p> <p>☆ 一括申込みの締め切りは、6月26日(金)としますが、その都度申込み参加することもできます。</p> <p>☆ 問い合わせは、ライフパーク倉敷 市民学習センター (係)福島頭・松本千秋 まで Tel 086-454-0011</p>			

